

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日 時：令和元年6月7日（金）
8：45～12：25（1～4限）
場 所：松江市立持田小学校体育館及び周辺
対象者：同校6年生 57名
指導者：○6年部教職員
○島根県教育庁文化財課

1. 主題（主題名）

古代の遺跡・建造物から知る古代の人々の思い

2. ねらい

- ・「奈良の大仏」について体験的、専門的に学び、巨大さとともに、込められた先人の思いについても触れる。
- ・身近にある遺跡の見学を通して、古代の人々の生活や思いを知り、島根の歴史・文化に対する興味・関心を高める。

学習活動	指導者の支援及び留意点
8：45～8：50（5分） ①座学：はじめに～島根の歴史・文化の魅力～	
8：50～10：10（80分） ②見学：持田小校区内の遺跡探検（太田古墳群1～5号墳）	
10：25～11：30（65分） ③体験：「奈良の大仏」について、その巨大さを学ぶ。 ※1m四方の部品パネル188枚をパズル形式で組み立て、高さ18mの大仏を完成させる。 ※大仏完成後、思い思いの場所に座って、巨大さを体感できる写真を撮影。	<ul style="list-style-type: none">・「奈良の大仏」の実物大パネルを活用。・一方的な説明に終始せず、子どもたちが「気づき」「わかる」よう質疑応答の対話形式で進行
11：40～12：25（45分） ④座学：持田小校区内の遺跡紹介、古墳時代の遺物の紹介、ふりかえり	<ul style="list-style-type: none">・一方的な説明に終始せず、子どもたちが「気づき」「わかる」よう質疑応答の対話形式で進行・発掘調査でみつかった遺物や遺跡の写真パネル、地図、ワークシートを活用・遺物については、実際に触れたり、近くで観察したりする時間を設定

3. 準備物等

- ・〔体験用具〕「奈良の大仏」の実物大パネル
- ・〔説明用具〕遺物、説明用パネル、ワークシート
- ・〔備品〕長机、ホワイトボード
- ・〔児童の装備〕長袖・長ズボン、帽子、水筒、虫除け、雨具